



# 京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

発行責任者：馬場 善和

## 同窓会 2 大ニュース

### ①第4回同窓会滋賀県支部総会盛況でした。

滋賀県支部総会は2007年7月8日(日)に四度、ホテル「ストンプラザ」草津で開催することができました。大学から波多野学長、藤田キャリアサポートセンター(旧就職課)事務長、西村名誉教授の御参加を頂き、同窓会本部から浅野会長以下多数の同窓会理事の協力を得て、盛況でした。西村名誉教授のミニ講演会では開学当時の貴重なお話が聞けました。藤田キャリアサポート事務長からは最近の就職の現状と求人のお願いで特に滋賀県内の就職先名及び求人状況を教えて頂きました。参加者24名でした。滋賀県支部役員7名全員が参集した総会でもありました。



第4回滋賀県支部総会 記念撮影し～休～ズ！！

### 【波多野学長より進路保証のできる大学づくり】

学長より懇親会を開始する前の短時間でありましたが貴重なお話を聞けました。例えば・・・  
小学校教職免許が取得できる制度の創設、大学院人間文化研究科で第1種臨床心理士養成機関認定を受けるようになった。リゾンセンターを新しく創設し、地域貢献との連携の下で教育研究の展開へと踏みだされた。野球部、サッカー部の強化等

★卒業生の一人として学長にお願いしたことを公開します。★

- ①第5回滋賀県支部総会は記念総会として取り組むことの確認
- ②卒業生を大切に大学であって欲しい!!
- ③パイオニア環境学部からの身近な学園大ブランド商品の早期発表(総会時にお茶のように配布ができる日用品を望みます。)

### ②第1回交流研修会(信楽焼)を実施!!

2007年5月20日(日曜日)信楽焼へ行ってきました。14期生で4代目、専務取締役の小西敏夫さんの製陶所へ――。



(株)丸克製陶所 信楽古陶館前で集合写真

初の試み、卒業生のお店(外食産業以外)を訪ねる企画でした。大学に関係する同窓生、学生、教職員の親睦を図り滋賀県支部活動を今後活発にする為、(株)丸克製陶所へお邪魔しました。



**【狸に囲まれた小西さん】**境学部の教材として以前、地元対象公開研修の受講者から聞いたお話ですが、存在すると報告を受けています。最新のパイオ技術で結び付く卒業生と大学の画期的な絆(交流)を感じます。このお話は本当にサプライズでした。

信楽と言えば狸で有名ですが、信楽焼陶器の癒やしに最先端の光触媒技術を導入されて空気清浄器を開発「ほっこりにっこり」が母校のパイオ

さて、創業100年以上の歴史がある丸克製陶所内で信楽の歴史を学べる信楽古陶館で小西さんから信楽焼の説明を受け、伝統技術が学べる製作工程の工場見学、殆どの人が初体験の中、灰皿、ピアグラス、お茶碗等思い思いの形にしていき、童心に戻ったように粘土をねりながら、楽しい陶芸教室でした。最後に丸克センター内でショッピングを楽しんで送迎も滋賀県支部の吉仲幹事の御協力でマイクロバスを安全運転して頂きました。アットホーム的な雰囲気の中で同窓会の「ふれあい」「つながり」「絆」を感じた交流研修会でした。世界に一つしかない陶芸品が宅配便で届くまでの約1ヶ月間どのような作品に出来上がっているか非常に楽しみで、手元に届いた時、ため息がでました。



【楽しい陶芸教室の様子】



「ア～こんなはずではなかった。」と・・・  
「ほっこりにっこりです。」

同窓会滋賀県支部

### 【編集後記】

同窓会タイムスのネーミングの由来は大学4年生時に新聞部に所属して1年に1回以上新聞が発行できたらOKの意味を込めて濁点の無い学園大学タイムスの発行からきています。25年以上経過しましたが大学時代の思いを込めて同窓会タイムスのネーミングにしています。卒業生が約23000人を超え、1期生の皆様は58歳をむかえます。支部活動も今年は4番目の中国(岡山、広島、島根、鳥取、山口)支部が誕生する予定と聞いています。同窓会の合言葉は「つながり」です。何かの縁で亀岡の京都学園大学にお世話になった皆様と一緒に母校の発展に微力ですが貢献できたらと思い地方支部第1号の滋賀県支部を運営しています。第3号京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムスが無事発信できるのも大学、同窓会本部、そして我ら滋賀県支部会員様の温かい「ふれあい」「絆」です。滋賀県支部タイムスの発信が京都学園大学卒業生のつながりに貢献できる事を望みます。

